

科 目	家庭総合	単位数	2	教科書・副教材等
学科・学年 コース	情報通信科 3学年			教科書 家庭総合（実教出版） 副教材 家庭科資料集（教育図書）
履 修	必修	担当教員	1人	

1 年間の学習目標

衣食住に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活、社会生活の充実向上を図る能力と実践的態度を育てる。

2 年間指導計画

月	大項目	単 元	到 達 目 標	評価方法
4 5	4編 消費者として自立する	1章 消費行動を考える 1、主体的な消費行動 2、消費者の権利と責任 3、資源・環境を考える	主体的で責任ある消費行動が実践できるため、適切な選択と意志決定についてわかる。 消費行動が、資源や環境問題に影響を及ぼしていることを理解する。 現代の生活情報や消費者問題、環境問題を生活者の視点から学ぶ 1学期中間考査	学習観察 課題提出 テスト
6 7	2編 人と関わって生きる 学習から実践へ	2章 子どもとかかわって生きる 1、みんなで育てる 2、生命の誕生 3、心身のゆたかな発達を ホームプロジェクトの意義と取り組みについて	実践的力を身につけるため、身近な事に目を向け、自己解決能力をつける。 生活者の視点から、基礎的知識・技術を習得する。 生命の神秘さとその尊厳について学んでいく態度を育成することを目指す。 共に育てる生命の責任について理解する。 乳幼児の心身の発達の特徴を理解する。 1学期期末考査	ワークシート テスト
9 10	2編 人と関わって生きる	2章 子どもとかかわって生きる 4、子どもの生活を知る 5、すべての子どもがすこやかに 保育実習(小木保育園との交流)<10,11月>	乳幼児の心身の発達の特徴を理解する。 幼児の健全な発達環境を理解するとともに生活習慣形成のためにできること、今後やらなくてはならないことについて理解する。	学習観察 実習態度レポート

10	3 編 生活をつくる	生活文化の伝承と創造 1 章 食生活をつくる 1、人と食物のかかわり	健康づくりのための食生活指針から、食事の大切さ、楽しさを理解する。 時代や地域と食物のかかわり、適切な食品の選択、購入のための知識、食料事情や安全対策についても理解できる。 食物についての基礎的・基本的な知識を調理操作で理解する。	小テスト
11		2、栄養と食品のかかわり		
12		3、食品の選び方と安全 調理実習	2 学期期末考査	実習態度 テスト
1		4、食生活をデザインする	基本的な食事作法を理解する 栄養素の栄養生理学的機能を理解し、摂取すべき栄養所要量による献立が立てられるようにする。	課題提出
2	3 編 生活をつくる	5、これからの食生活を考える 調理実習	食の安全に関心を持ち、食品の衛生的管理ができるようになるための知識を習得する。 調理の楽しさを実習により知り、各種の調理技術を習得し、健全な食事について、認識させる。 学年末考査	実習態度 テスト

3 学期の評価について

1.定期考査の成績（思考、判断、知識、理解）	50%
2.実習、実技の参加態度、製作作品の完成度（関心、意欲、技能、表現）	30%
3.課題レポートの提出、小テスト（関心、意欲、思考、判断、理解）	10%
4.授業態度、出欠状況（関心、意欲、態度）	10%
以上を総合的に評価する。	

4 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	家庭総合の生活課題に関心を持ち、具体的、科学的に取り組む実践的態度を身につける。
思考・判断	生活課題を自ら思考し、解決のための適切な判断力を身につける。
技能・表現	家庭生活、地域社会での生活の充実向上のための基礎、基本の技術を身につけ、創意工夫する能力を身につける。
知識・理解	自らの生き方と家庭生活、地域生活の充実向上のための総合的、科学的、具体的な知識をもつ。

5 担当者からのメッセージ

自分らしい生き方を考える教科です。生活の基礎的な知識、技術を身につけ、健康で安全な生活が営むことができるようにしましょう。

他の教科で学んだことと総合して、自分の生活を成立、充実させるために勉強するという意識で積極的に取り組みましょう。そして、授業で学んだこと、考えたこと、実習を通して体験したことを日々の生活で実践しましょう。